平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月10日

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社　　上場取引所　東
コード番号 2459　URL http://www.auncon.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役 兼 代表執行役員CEO　(氏名) 信太 明
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員 管理部門担当CFO　(氏名) 中田 茂樹　TEL 03-5803-2727

四半期報告書提出予定日　平成26年4月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	1,222	22.2	△17	―	△2	―	1	―
25年5月期第3四半期	999	△9.5	△52	―	△24	―	△25	―

(注)包括利益　26年5月期第3四半期　△5百万円　(―%)　25年5月期第3四半期　12百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	0.17	―
25年5月期第3四半期	△3.49	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第3四半期	892	688	77.1
25年5月期	905	690	76.2

(参考)自己資本　26年5月期第3四半期　688百万円　25年5月期　690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年5月期	―	0.00	―		
26年5月期(予想)				―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成26年5月期の期末配当予想および合計については、現時点において未定であるため記載しておりません。

3. 平成26年 5月期の連結業績予想(平成25年 6月 1日～平成26年 5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,520	8.3	20	―	20	―	20	―	2.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) AUN Korea Marketing, Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期3Q	7,502,800 株	25年5月期	7,242,800 株
② 期末自己株式数	26年5月期3Q	― 株	25年5月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期3Q	7,459,467 株	25年5月期3Q	7,242,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P. ２
（１）連結経営成績に関する説明 ……P. ２
（２）連結財政状態に関する説明 ……P. ２
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……P. ３
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……P. ４
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P. ４
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P. ４
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P. ４
３．継続企業の前提に関する重要事象等 ……P. ５
４．四半期連結財務諸表 ……P. ６
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. ６
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. ８
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……P. 10
（継続企業の前提に関する注記） ……P. 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……P. 11
（セグメント情報等） ……P. 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（平成25年６月１日～平成26年２月28日）におけるわが国経済は、政府の一連の経済政策等により一部に業績改善の兆しがみられ、今後のさらなる回復に向けた期待感が高まりつつあります。一方で、長期化する欧州の政府債務問題や新興国の経済成長鈍化など、依然として先行き不透明な状況が続いており、今後の動向が注目されております。

このような状況の中、当社グループは業績の黒字化を最優先課題とし、当第３四半期連結累計期間においては第３四半期において実現された各組織の運用力強化に継続的に取り組みました。

まずSEOについては、期初方針からぶれることなく、第３四半期においても継続的に本質的な施策開発と仕組化に取り組みPDCAサイクルが軌道に乗り始めました。さらに、海外法人での取り組み事例がこのPDCAサイクルの精度向上に寄与することが出来ました。また、これらを背景として新規案件の受注体制強化として前期に確立した地方都市圏の代理店チャネルの活用と併せ、首都圏での直販営業組織体制整備に着手し、その足がかりを当期において得ました。

次に、PPCについては、第２四半期で構築された組織的な提案力強化による新規受注実績の向上と安定的な運用体制の維持向上が循環し始めました。その上で、年間のピークである年度末需要期をこのサイクルの中で迎えることが出来たため着実に実績につながり、売上の伸長を実現しました。

翻訳については、第２四半期で進めた品質担当組織の育成を背景に新規受注体制の強化に取り組んで参りました。リピートクライアントへの定期接触に加え、特に大型案件につながる法人からのリード確保を仕組化すべく、首都圏の需要が見込まれる業界への直販営業組織体制を整備し、訪問営業強化の足がかりを得ることが出来ました。

海外法人においては、利益が先行する法人から後発法人へのノウハウ移植という好循環が安定的に推移しました。先行する法人では来期を見据えて組織体制の拡大や商品拡充に着手しており、海外法人領域における発展的拡大へ向けて、次の段階への準備に取り組むことが出来ました。

最後に、業績黒字化を実現し得る人材の採用については、第２四半期において継続した人材のサーチが功を奏し、国内担当COOの採用が実現しました。国内および海外それぞれに専任の執行役員を配置し、その指揮のもと部門長クラスがスピード感をもって組織運営を遂行する体制が確立致しました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,222百万円（前年同期比22.2％増）、営業損失は17百万円（前年同期は営業損失52百万円）、経常損失は２百万円（前年同期は経常損失24百万円）、四半期純利益は１百万円（前年同期は四半期純損失25百万円）となりました。

なお、セグメント別の状況については、当社グループはSEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.8％減少し、805百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.0％減少し、86百万円となりました。これは、主に投資その他の資産の減少によるものであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.8％減少し、201百万円となりました。これは、主に前受金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて25.9%減少し、２百万円となりました。これは、主にリース債務の減少によるものであります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、688百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、平成25年7月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より連結子会社であったAUN Korea Marketing,Inc.は、株式譲渡に伴い、連結範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年５月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	559,535	566,583
受取手形及び売掛金	238,729	229,929
仕掛品	743	604
その他	23,030	20,227
貸倒引当金	△9,658	△11,949
流動資産合計	812,380	805,395
固定資産		
有形固定資産		
建物	20,329	20,111
減価償却累計額	△9,977	△11,483
建物（純額）	10,351	8,628
工具、器具及び備品	44,325	35,827
減価償却累計額	△35,684	△24,024
工具、器具及び備品（純額）	8,640	11,802
有形固定資産合計	18,992	20,431
無形固定資産		
のれん	449	145
ソフトウエア	10,782	8,955
無形固定資産合計	11,232	9,101
投資その他の資産		
投資有価証券	28,151	23,194
敷金及び保証金	34,958	34,060
投資その他の資産合計	63,110	57,254
固定資産合計	93,334	86,786
資産合計	905,715	892,182
負債の部		
流動負債		
買掛金	135,553	137,410
未払費用	21,800	25,059
未払法人税等	1,748	1,452
前受金	20,340	11,646
その他	32,112	25,524
流動負債合計	211,554	201,093
固定負債		
リース債務	1,891	801
繰延税金負債	1,678	1,843
固定負債合計	3,569	2,645
負債合計	215,124	203,738

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年５月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年２月28日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,576	341,136
資本剰余金	470,576	471,876
利益剰余金	△139,437	△137,933
株主資本合計	670,714	675,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,031	3,329
為替換算調整勘定	16,845	9,913
その他の包括利益累計額合計	19,876	13,242
新株予約権	―	122
純資産合計	690,590	688,443
負債純資産合計	905,715	892,182

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成25年２月28日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年６月１日 至　平成26年２月28日）
売上高	999,982	1,222,682
売上原価	706,770	931,736
売上総利益	293,211	290,945
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	345,702	308,153
営業損失（△）	△52,491	△17,208
営業外収益		
受取利息	352	187
保険解約返戻金	2,353	－
解約手数料等	444	1,481
未払配当金除斥益	486	315
移転補償金	3,311	－
投資事業組合運用益	－	12,867
為替差益	21,046	－
その他	826	1,022
営業外収益合計	28,822	15,875
営業外費用		
支払利息	128	76
株式交付費	455	－
為替差損	－	1,274
その他	330	103
営業外費用合計	914	1,453
経常損失（△）	△24,583	△2,786
特別利益		
関係会社株式売却益	－	5,088
新株予約権戻入益	－	15
特別利益合計	－	5,103
特別損失		
固定資産除却損	146	－
固定資産売却損	103	621
特別損失合計	249	621
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△24,832	1,696
法人税、住民税及び事業税	435	435
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△25,267	1,261
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△25,267	1,261

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成25年２月28日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年６月１日 至　平成26年２月28日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△25,267	1,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,852	298
為替換算調整勘定	33,092	△6,931
その他の包括利益合計	37,945	△6,633
四半期包括利益	12,678	△5,372
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,678	△5,372

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、SEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。